

さくら坂保育園

日時：2014年2月27日（木）13:30-17:00

2014年3月7日（金）9:00-16:00

場所：草津市青地町1248番地の4

開園6年の新しい保育園。3年前に裏山を子どもたちの自然体験の場として活用を始めました。卒園児のおじいさんがアドバイスくださり、裏山を間伐し、子どもたちが楽しめる自然豊かな森になっていきました。その毎日のように出かけている裏山でプログラムを実施しました。（対象：5歳児 計22名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

幼児自然体験型環境学習にあたって・・・

- ・雨が降ったら、室内と決め付けていませんか？雨だからこそ楽しめる、子どもたちが生き生きする可能性もあります。木を揺らせば葉っぱから雨粒がたっぷり降ってきます。水滴をルーペで覗くとステキな世界が見えます。水たまりは、最高の遊び場です。
- ・カッパがあれば、雨の中もへっちゃらです。園にカッパを常備しておけば、いつでも出掛けられます。

落ち葉の違いが見えてきて、なんと17種類も見つかりました。落ち葉でカルタ取りもしました。



ペアで木になりきりました。似てるかな？



みつけた！！

裏山にある枝で作ったトンネル。普段は通りすぎる遊び場を活用しました。トンネルシアターとして、枝の間から見えるものを当てるクイズを行いました。例題で、うさぎの絵がチラチラと見えると、「うさぎ！」と声をあげていました。本番では、子どもたちが画用紙に問題を自然物でつくりました。「ひらがなは何？」「葉っぱに塗られた色は？」「何枚の葉っぱが貼ってる？」「葉っぱで作ったのは何の顔？」など工夫して問題を作りました。



いつものトンネルに「とんねるしあたー」の文字。何が始まるのかわくわく

トンネルから見える文字や絵。何が通るか見たくて見たくて、興奮気味の子どもたち。自分たちで問題を作ったり、通ったり、そして答えたりと、役割を交代していました。



トンネルの中を通過していたのは、アンパンマンでした！みんな分かったかな？



森の仲間に変身だ、とうっ!!

いつも「変身ベルト」の歌に合わせて踊っている子どもたち。森でも踊りました。そして、たぬき（茶色の葉っぱ）、きつね（枝）、かえる（緑の葉っぱ）、すずめ（木の实）のグループに分かれて、ベルトづくりを行いました。いろんな自然物があるように、友だちもいろんな仲間がいること、生き物の命への感謝などを話しました。

みんな踊るぞ！
変身ベルト！
とうっ！



変身ベルトをつくって、ハイポーズ。すずめのポーズです。



私たちは、緑の葉っぱで作ったよ。



私たちは、タヌキのベルトを作ったよ

さがしてみよう！集めてみよう！作ってみよう！

葉っぱに注目した子どもたち。色や形、大きさの違いを見つけていきます。いろんな特徴に気づいたところで、その葉っぱを使って生き物（タヌキ、キツネ、すずめ、かえる）を作ります。葉っぱの多様性に気づいた子どもたち。最後は、葉っぱが土に還り、森の栄養となり、さらに循環していくことを伝えています。

グループで違う葉っぱを集めるよ。僕たちは茶色だよ。



すずめ、カエル、それぞれの絵ができたよ



葉っぱを貼付け中。葉っぱをちぎって貼ったりと工夫も見られます。

プログラムを終えてのふりかえりから

- 生き物の形態への子どもの発想が高まり、葉っぱの色を変えたり、部位によって葉っぱの貼り方を変えていた。
- 企画した側の思いやメッセージ性、意識づけで、寒さの中2時間以上、集中して遊べるものと思わなかった。子どものすごさ、自然のよさも感じた。
- 子どもたちの自然物を扱う工夫に驚いた。葉を貼り付けるだけでなく、切ったり、立体的に捉えたり、様々な種類の木の实を使い分けたりしていた。